

オスプレイの訓練中止の意見書採択

12月議会の最終日の21日、日本共産党議員団は、栗山香代子議員が議案1件について反対討論を、釘丸久子議員が議案1件陳情8件について賛成討論を行いました。

反対討論

栗山香代子議員

厚木市市税条例の一部改正

今回の条例改正の下になる法律では、東日本



大震災復興基本法の理念に基づき、各自治体が緊急に実施する防災のための施策に要する財源確保としてい

ます。平成23年度から27年度までの5年間に実施する防災施策の財源を、国民に新たに賦課するものです。

県民税が500円、市民税も500円、合計1000円の均等割での住民負担になります。それが平成26年度から35年度の10年間と言う事ですから、厚木市では年間約5400万円、10年間で5億4000万円になります。その金額を、市債発行による事業に充当するのでしょうか。

厚木市は平成24年度から27年度の4年間の防災施策にあてるとの事です。自治体では以前より、防災のために様々な施策を展開しています。通常の防災対策に加えて、10年間の5億4000万円を4年間の防災施策に上乗せできるのでしょうか。

市民税の一律での負担増、後だしの財源の使途への疑義から、この条例改正に反対します。

賛成討論

釘丸久子議員

厚木市公契約条例

公契約条例は、2009年、全国で初めて千葉県野田市で

制定され、2010年12月には川崎市が政令指定都市として初めて制定しました。野田市



で制定後、対象業種以外でも労働条件の向上がみられ、働く人たちの労働環境が改

善されました。

厚木市の公契約条例の対象契約は、予定価格1億円以上の工事請負契約と、1000万円以上の業務委託です。平成23年度の実績でいえば、工事で2件、委託で17件です。野田市では当初1億円以上の工事請負契約が対象でしたが、5000万円に引き下げています。労働者の労働条件の向上は、建設産業における低賃金の解消、高い離職率に歯止めをかけることにもつながります。建物や道路、下水道整備など、社会資本の安全を担保するものとなります。本制度がきちんと施行され、働く人にとっても、地元業者にとってもより良いものになり、自治体の工事などで瑕疵の起こることのないよう万全を期してほしいと思います。

安全・安心の医療・介護実現のための医師・看護師等の夜勤改善と大幅な増員を求める意見書を国に提出することを求める陳情

介護職員処遇改善加算の継続、拡大を求める意見書を国に提出することを求める陳情

両陳情はより良い医療・介護を求めて国への意見書提出を求めるものです。医療や介護の現場での人員不足が問題になってから随分と時間がたっていますが、一向に改善の兆しはありません。それどころかますます医師・看護師不足は深刻になり、介護現場では、劣悪な労働条件と賃金の低さに離職が相次いでいます。夢を抱いて介護の現場に就いた若い人たちが、体を壊し失望して離職せざるを得ない状況です。消費税増税と併せて、社会保障改革



2013年が始まります

2013年が始まります。2012年の総選挙で政権が自民党に移りました。前回の政権交代では、予算が凍結され地方行政の運営に影響が出ました。党議員団は、市民の暮らしや安全、平和を守るためにみなさんと活動します。(右)釘丸久子議員 (左)栗山香代子議員

とは名ばかりの、医療介護分野の改善を進めようとしています。介護保険料だけはしっかりと徴収しながら、介護のサービスを縮小していく方向です。充実した介護を求めれば、保険料高騰につながります。介護保険制度の制度的矛盾は明らかです。両陳情を採択し、国への意見書提出を求めます。

「神奈川県緊急財政対策」について慎重な検討を求める意見書を県に提出することを求める陳情

神奈川県緊急財政対策で出されたものは、まさに自治体としての役割を放棄するものです。県有施設の廃止・統合、民間売却、県単独補助金の凍結、抜本的見直しの提起が余りにも乱暴で、県民や自治体の怒りを買っています。住民団体も県に対して意見を言っています。もちろん厚木市も市長会などと共に、しっかりと働きかけています。

こういう時に、住民の代表であるべき議会が、モノ申さないでいいのでしょうか。両陳情を採択し、県に対して意見書を提出するべきです。

米海兵隊垂直離着陸輸送機MV22オスプレイの低空飛行訓練の中止を求める意見書を国に提出することを求める陳情

戦後67年たった今も、外国の基地が存在し、住民が米軍機の騒音に悩まされ、米兵犯罪におびえている。これが主権国家といえるでしょうか。米海兵隊垂直離着陸輸送機MV22オスプレイは、欠陥機として事故が多くアメリカ本国での飛行訓練が中止されたものです。それを、日本の国内では堂々と住民の住む上空、しかも低空で行っていることに住民の不安と怒りは大きいものがあります。

沖縄では、オスプレイ配備反対の県民集会に10万人が集まりました。しかし、日米両政府は配備を強行しました。夜間に無灯火で離着陸し、コンクリートブロックをつり下げて飛行するなど、島中で無法な訓練を繰り返すなど危険な実態が報告されています。それを厚木基地にも配備が計画されていたことも明らかにしています。住民の安全を願う議会として、この陳情に賛成します。(2面へ)